

参入市町村名	小豆島町(香川)	
法人等名(業態名)	株式会社ヤマヒサ	
参入の種別	認定農業者	
農業部門の概要	栽培作物	オリーブ
	経営規模	3.2ha
	雇用者数	常用3名
地域の概要	小豆島は日本の中で1ヶ所だけ栽培に成功(オリーブ) 明治41年農家は小さな畑、田で高齢者がほとんどだ。	
参入の動機、きっかけ、参入の経過など	自分で農薬や化学肥料のないオリーブ栽培を目指した。子供達にも安全安心なオイルを食べさせたかった。	
農業経営(農業事業)の内容	平成元年に自分の畑に(27a)に200本の4年生の苗木を植えたのが始まり。以降順々に植え今2.3ha、オリーブ茶畑90aを持ち、オイル、お茶、葉のエキス等の販売。又、地元の養殖ハマチのエサに低温乾燥の葉をあたえて、オリーブハマチのブランドで漁連が販売。	
農産物の販売状況	乾燥葉、お茶、オリーブオイル共に少しずつではあるが、増えている。	
農業参入にあたって苦労したこと	小豆島は中山間地区で、小さな畑しかなく貸してくれる百姓が少ない。そこで町や農協に間に入ってもらって農地を借りる特区制度を平成15年に町と共に作った。2年後に全国的になった。	
現在の課題、問題点	島内での畑には制限があり(少ない為)広げるには島外にも眼を向ける必要が有る。	
農業参入で良かったと思う点	自分達で作ると言う事は安全・安心につながり、より良い商品作りが出来る。	
今後の展開方向、行政や関係機関に望むこと	町はより積極的に農地の賃借を進めてほしい。又、会社が農地を持てる様にしてほしい。放棄地がキレイになると「返してくれ」等の話しが有り実際に返した。大きな損害だ。	